

専門ゼミB		演習	教授 小笠原 正志	
科目カテゴリ	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130302	

1. テーマ

スポーツビジネスの領域やスポーツ組織におけるマーケティングおよびマネジメント

2. ゼミのねらい・概要

本ゼミでは、スポーツマネジメント科学の基本理論をより広く学習するとともに、主要な文献レビューを通して、スポーツビジネスや社会におけるスポーツの様々な動向に関する研究課題と研究方法の理解を深めることをねらいとする。まず、スポーツマネジメントに関連する文献について討議を中心に学習し、その基本的な研究方法や論文の構成について学んでいく。その中で、各自が興味・関心をもつスポーツについて、スポーツマネジメントの視点から課題を提案し、発表・討論により議論を深める。

さらに、調査研究の手法を学習し、統計ソフトやプレゼンテーションソフトを活用して、データの分析および解釈、視覚に訴える図表の描き方について実践する。これらの学習を通して、より効果的な資料作成技法やプレゼンテーション能力の習得を目指すとともに、スポーツマネジメントに関する知識や理解を深める。また、マーケティング調査やプロモーション活動などの連携事業を通して、スポーツの実践の場におけるマネジメントを体験する。

3. ゼミ計画

〈後期〉	9. 研究テーマの検討②(テーマの捉え方について)
1. 後期のゼミにおける課題・進め方などのガイダンス	10. 研究テーマの検討③(するスポーツに関して)
2. 統計手法の基本①(データの整理)	11. 研究テーマの検討④(地域スポーツに関して)
3. 統計手法の基本②(基礎集計・度数分布)	12. 研究テーマの検討⑤(みるスポーツに関して)
4. 統計手法の基本③(記述統計)	13. 研究計画書の作成①(作成の仕方について)
5. 統計手法の基本④(分散分析・検定)	14. 研究計画書の作成②(自身の課題の検討)
6. 統計手法の基本⑤(因子分析)	15. 後期のまとめ
7. 統計手法の基本⑥(多変量解析)	
8. 研究テーマの検討①(先行研究のレビューについて)	

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

ゼミで取り組んだ課題について、内容を復習しておく。これらの準備学修には、1時間程度が必要である。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

調査研究の方法、テーマ設定について、個別に講評(不足している点や今後取り組むべき点など)をコメントする。

6. ゼミにおける学修の到達目標

本講義では、スポーツマネジメント研究の課題となる視点や研究方法を理解するとともに、Word, Excel, Power Pointの基礎的なスキルを身につけることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミでの学習意欲(20%)、課題への取り組みおよび内容(70%)が基本となるが、調査の実施やスポーツボランティア等の実践的な活動への積極的な意欲(10%)などを加味した上で総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

参考文献: 畑 攻, 小野里 真弓 編著「基本・スポーツマネジメント」 大修館書店 2017.

葦原一正著「稼ぐがすべて Bリーグこそ最強のビジネスモデルである」 あさ出版 2018.

原田宗彦 編著「スポーツマーケティング」 大修館書店 2008. その他、適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

ゼミの時間以外（主に週末）に地域スポーツやスポーツイベント等の現場にて調査の実施やボランティア活動を実践する機会がある。そのような課外活動に積極的に取り組む意欲のある学生が望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、企業における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。